

平和でこそ釣りができる、憲法9条は釣り人の宝

私が所属している奈良勤労者魚釣りクラブが第43回定期総会を開催しました。

総会では今年度も事故がなく楽しい釣りができるような力を合わせてとりくむことをはじめ、引き続き集中豪雨で荒廃した県内河川の復旧と自然を守る運動をすすめるなど、新年度活動方針と新役員の選出、特別決議を採択しました。

<特別決議>

安倍内閣と改憲勢力の暴走を許さず、憲法を守る運動の発展を小選挙区制の虚構がつくり出した第2次安倍内閣は、衆議院で3分の2を超える議席を確保し、改憲への動きを急速に強めています。

自民党は日米同盟のもとで、自衛隊の海外派兵を求めるアメリカの要求にこたえ「国防軍」の創設などの公約を掲げ、公明党は改憲に向けた論議を深めることを自民党と合意しました。また、維新の会やみんなの党も改憲を公言し、7月の参議院選挙後にむけて憲法改悪の動きを強めています。

財界を含めた改憲勢力は、日米安保条約のもと、自衛隊の海外での武力行使をもくろみ、また、国民のいのちと暮らし、平和と民主主義を守るとりである憲法の改悪を何度となく企ててきました。しかし、戦争の悲劇を経験した国民は、この企てに反撃し、これを阻止してきました。

私たち釣り人も「平和でこそ楽しい釣りができる、憲法9条は釣り人の宝」として、2005年7月に「奈良・釣り人9条の会」を結成し、全国の釣り仲間にも訴え、憲法を守るたたかいを続けてまいりました。

安倍内閣と改憲勢力は、参議院選挙後のスケジュールを、解釈改憲で「集団的自衛権の行使」に踏み込み、憲法96条を変えて改憲の発議要件を緩和し、9条の改悪をたどることを目指しています。

戦後68年間、戦争による外国人の犠牲者を一人も出させなかった憲法9条。世界に誇る平和と民主主義、国民の生存権と文化的生活を保障する日本国憲法を守るたたかいは重大な局面を迎えています。

全国7,500の「9条の会」をはじめ「原発ゼロ」、「オスプレイNO」、「TPP参加阻止」、「消費税増税反対」など国民の悪政に対するたたかいは広がっています。

私たちは共同の輪を広げ、日本国憲法の改憲阻止のたたかいをさらに発展させるために奮闘します。

2013年2月24日

第43回奈良勤労者魚釣りクラブ定期総会